

医療区分	区分3	<b>【疾患・状態】</b> ・スモン ・医師及び看護師により、常時監視・管理を実施している状態  <b>【医療処置】</b> ・24時間持続点滴 ・中心静脈栄養 ・人工呼吸器使用 ・ドレーン法 ・胸腹腔洗浄 ・発熱を伴う場合の気管切開、気管内挿管 ・感染隔離室における管理 ・酸素療法(酸素を必要とする状態かを毎月確認)
	区分2	<b>【疾患・状態】</b> ・筋ジストロフィー ・多発性硬化症 ・筋委縮側索硬化症 ・パーキンソン病関連疾患 ・その他の難病(スモンを除く) ・脊髄損傷(頸髄損傷) ・慢性閉塞性肺疾患(COPD) ・疼痛コントロールが必要な悪性腫瘍 ・肺炎 ・尿路感染症 ・リハビリテーションが必要な疾患が発症してから30日以内 ・脱水かつ発熱を伴う状態 ・体内出血 ・頻回の嘔吐かつ発熱を伴う状態 ・褥瘡 ・末梢循環障害による下肢末端開放創 ・せん妄 ・うつ状態 ・暴行が毎日みられる状態あ(原因・治療方針を医師を含め検討)  <b>【医療処置】</b> ・透析 ・発熱又は嘔吐を伴う場合の経腸栄養 ・喀痰吸引(1日8回以上) ・気管切開 ・気管内挿管のケア ・頻回の血糖検査 ・創傷(皮膚潰瘍 ・手術創 ・創傷処置)
	区分1	医療区分2・3に該当しないもの

ADL区分	0	自立	手助け、準備、観察は不要又は1~2回のみ
	1	準備のみ	物や用具を患者の手の届く範囲に置くことが3回以上
	2	観察	見守り、励まし、誘導が3回以上
	3	部分的な援助	動作の大部分(50%以上)は自分でできる・四肢の動きを助けるなどの体重(身体)を支えない支援を3回以上
	4	広範囲な援助	動作の大部分(50%以上)は自分でできるが、体重を支える援助(例えば、四肢や体幹の重みを支える)を3回以上
	5	最大の援助	動作の一部(50%未満)しか自分でできず体重を支える援助を3回以上
6	全面依存	まる3日間すべての面で他者が全面援助した(及び本動作は1度もなかった場合)	

各項目について6段階で評価し合計

項目	支援のレベル
ベッド上の可動性	
移乗	
食事	
トイレの使用	
合計	
ADL区分	ADL得点
1	0~10
2	11~22
3	23~1